

門真市ものづくり企業ネットワーク

中国山東省交流部会設立について

平成 28 年 1 月 14 日
門真市ものづくり企業ネットワーク
代表世話人 大坪 勤

我が国の経済は、アベノミクスの一連の経済政策により大企業を中心に企業収益は過去最高を記録し、また円安の進行により、大手を中心に生産の国内回帰の動きが活発化するなど、明るい材料が見られます。一方で、地域経済においては、依然として、確かな景気回復を実感するまでに至っておらず、とりわけ、地域のものづくり企業の経営者には、経済のグローバル化、産業構造の変化に対応した経営判断が求められています。

その選択肢の一つとして、積極的に海外に進出し、事業拡大と収益性を求めることが考えられます。

メガバンクの収益の柱が国内から海外へと移り、収益構造が大きく変化している現状を鑑みれば、中小企業が大企業の受注のみにその経営の根幹を依存し安住することは、常に大きなリスクを抱えていることに他なりません。中小企業も、完全内需型からある程度の外需型へと経営形態を変化させ、海外の需要を取り込んでいくことは経営上の重要な選択肢です。

4 期目を迎える「門真市ものづくり企業ネットワーク」では、企業間交流を中心としたこれまでの取り組みに加え、受発注の促進やビジネスの拡大に資する取組を強化していくことを方針として掲げております。今回、この一環として、会員企業が連携し海外展開を行うための部会を立ち上げたいと考えております。

対象とする地域は、既に会員企業も進出した実績もある中国山東省、臨沂、棗莊、

とうしゅう 滕州市です。同省は中国でも有数の経済規模を有し、日本ともつながりが深い地域です。世界の工場と言われて久しい中国ですが、GDP は世界 2 位、13 億人の人口を誇り、有数の消費地へと変貌を遂げつつあります。中国の経済規模とその成長を門真地域の中小企業と連結し、会員企業の成長、地域経済を発展につなげていくために、部会では、同省企業からの受注獲得やその仕組みの構築、現地への進出などについて検討・実施していきたいと考えております。

ネットワーク会員企業の皆様には趣旨御理解いただき、多くの企業が本部会にご参加いただきますようお願いいたします。